

Ao Dai Fund Monthly Report

【お問い合わせ】

フリーダイヤル: 0120-411-965

ホームページURL: <http://www.news-sec.co.jp>



アオサイ月次レポート

17年12月 アオサイ運用実績 (17/12/31現在)

基準価額(米ドル)

90.41

前月比(17/11/30～)	+ 4.26	+ 4.94%
設定来(08/11/30～)	- 9.59	- 9.59%
年初来(16/12/31～)	+ 15.86	+ 21.27%

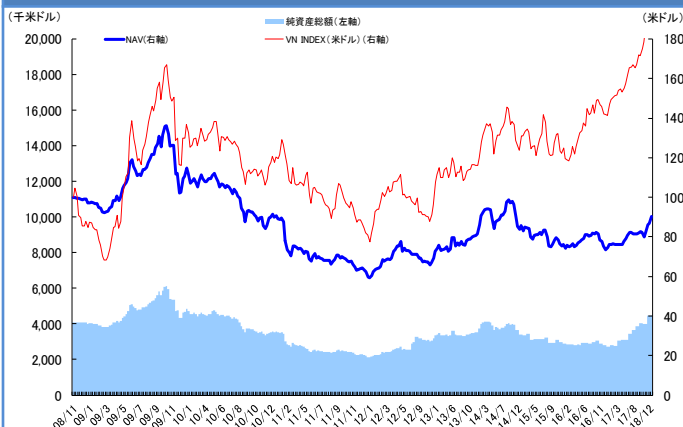
ファンド口数 前月比

49,225 - 2,619

ファンド純資産額(米ドル) 前月比

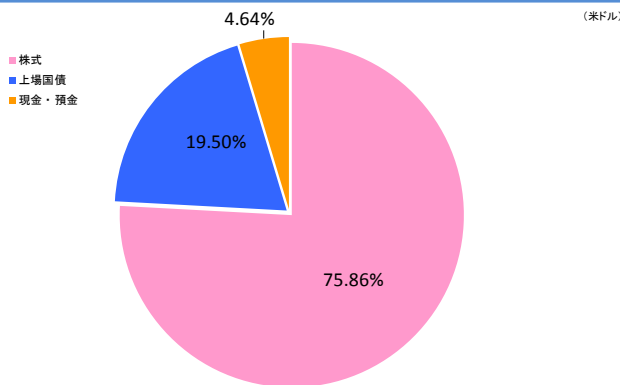
4,466,514 + 19,705

NAVと純資産の推移 (設定来～)



※NAV(米ドルベース)、VN Index(米ドルベースを設定日100として指数化)

17年12月 組入比率(全資産) (17/12/31現在)



17年12月 組入上位銘柄(株式) (17/12/31現在)

	銘柄 (コード)	市場	比率
1	ビナミルク (VNM)	V	13.56%
2	ホアファットグループ (HPG)	V	8.77%
3	リー冷蔵電気工業 (REE)	V	7.90%
4	ベトナムコンテナ (VSC)	V	7.04%
5	フーニュアンジュエリー (PNJ)	V	6.94%
6	軍隊商業株式銀行 (MBB)	V	6.42%
7	ペトロベトナムガス (GAS)	V	6.33%
8	ビナコネックス (VCG)	H	5.67%
9	ビン・グループ (VIC)	V	4.79%
10	ペトロベトナム技術サービス (PVS)	H	4.29%
	その他		28.29%
	(計)		100.00%

※市場の「V」はHOSE上場銘柄、「H」はHNX上場銘柄

17年12月 組入上位セクター(株式) (17/12/31現在)

	セクター	比率
1	石油・ガス	16.61%
2	不動産開発・建設	11.33%
3	電力	10.42%
4	銀行・金融	9.48%
5	鉄鋼	8.77%
6	輸送・物流	7.04%
7	通信・IT	4.11%
8	水産	3.67%
9	肥料	1.68%
10	軽工業	0.00%
	その他	26.90%
	(計)	100.00%

【管理運用会社】

FPT Fund Management Joint Stock Company.

ニュース証券株式会社【関東財務局長(金商)第138号】
加入協会 日本証券業協会、一般社団法人日本投資顧問業協会
主な事業 金融商品取引業

●本資料は、ニュースFPTキャピタルトラストベトナムバランスファンド(愛称 アオサイ)の運用状況に関する情報提供を目的に、FPT・ファンド・マネジメント・ジョイント・ストック・カンパニーが作成したレポートを基に、日本における販売証券会社であるニュース証券株式会社が作成したものです。●本資料は、ファンドの取引を勧誘又は推奨するものではありません。●本資料は、ファンドの取引を勧誘又は推奨するものではありません。●本資料は、信頼しうる情報に基づいて作成されていますが、その確実性・完全性を保証するものではなく、今後予告なく変更されることがあります。また、本資料の過去の実績に関する数値等は将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。●ファンドは値動きのある金融商品等に投資しますので、基準価格が変動し損失が生じるおそれがあります。従って、投資元本が保証されているものではなく、ファンドの運用による損益はすべて投資家の皆様に帰属します。●ファンドは預金保険の対象ではございません。投資をされる際には、投資リスク及びご負担頂く手数料等の諸費用について目録見書(投資信託説明書)をご確認下さい。

Ao Dai Fund Monthly Report

【お問い合わせ】

フリーダイヤル: 0120-411-965

ホームページURL: <http://www.news-sec.co.jp>

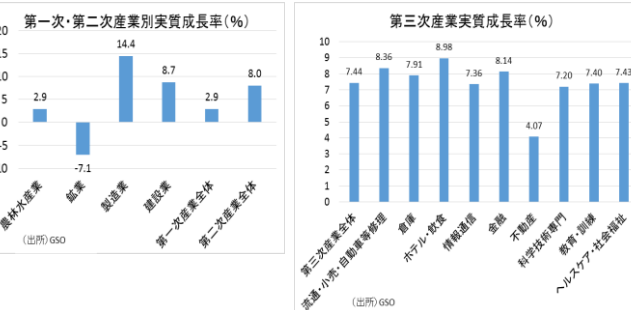
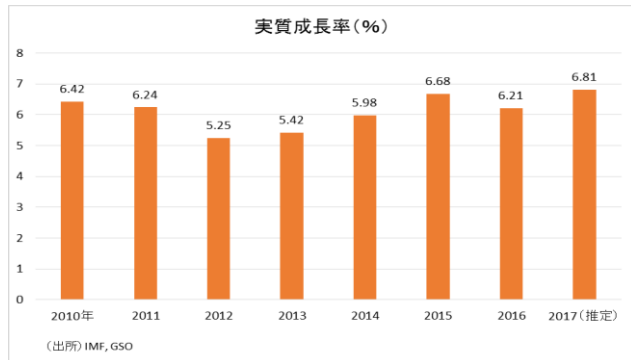


ベトナム経済概況

<2017年の成長率は高成長を維持>

2017年のベトナム実質経済成長率推定値が発表され、例年通り引き続き高成長を維持したと見られる。2015年以來6%以上の成長率を維持しており、輸出、内需ともに好調に推移した。

産業別には外資系企業の貢献が輸出志向製造業の伸びに貢献し、14.4%の実質成長(前年比)となったほか第三次産業も7.44%の伸びを示した。第三次産業は流通小売、金融、ホテル飲食などの業界の伸びが8%を超え消費生活の向上を裏付けた。



<輸出動向>

ベトナムの経済成長に対する輸出の貢献度は高い。2017年中の輸出品目のなかで高い伸び率を示したのが鉄鋼、石炭、エレクトロニクス製品などであった。輸出先1位は米国で2位が中国、ついで日本、韓国となっている。

<外資導入>

対内直接投資も順調に推移。日本からの投資は2016年が868.1百万ドル、2017年は7745.8百万ドルと発表されており、日本からの投資は大型案件を含めて増加した。

対内直接投資認可状況(2017年1/1~12/20まで)

	件数	登録資本額(百万ドル)
日本	367	7,745.8
韓国	861	3,973.3
シンガポール	186	3,771.8
中国	284	1,409.7
香港	129	740.4

(出所) GSO

<株式市場>

ベトナム株価指数は2016年にくらべて48%の上昇となった。大型株が相場を主導し、銀行・証券および消費関連企業の上昇が目立った。個別銘柄としてはACBグループ(金融)が年間109.65%の上昇、マッサングループ(食品)が85.9%、ビンググループ(不動産)が年間に84.04%の上昇、ビナムミルク(食品)70.5%の上昇などとなった。2017年は政府保有株の民間への放出が多かったが株式市場は崩れることがなく、概ね順調に民間資金の導入に成功した。今後ベトナム株価指数は2007年のピーク(1,180ポイント)を超えるかどうか注目される。

セクター別年間投資収益率(2017年)

セクター	年初来投資収益率 (%)
金融	57.5
テクノロジー	39.3
公益事業	27.7
一般消費財	23.7
工業	19.9
ヘルスケア	18.1
生活必需品	15.3
原材料	14.9
エネルギー	13.7
通信	2.4

(出所) Bloomberg

2017年年間投資収益率上位銘柄例

銘柄名	コード	投資収益率 (%) 値上がり+配当
サイゴンハイ証券	SHS	394.4
ASIA COMMERCIAL BANK	ACB	109.7
ダットサイン不動産建設	DXG	108.7
サイゴンハイ商業銀行	SHB	102.2
VNダット証券	VND	101.5
ホアヒン建設グループ	HBC	100.0
軍隊商業銀行	MBB	98.5
FIT グループ	FIT	88.6
マッサングループ	MSN	85.9
ベトナム投資開発銀行	BID	85.7
ビンググループ	VIC	84.0
リー冷蔵電気工業	REE	79.1
FLC ファロス建設	ROS	74.3
VIETNAM CONSTRUCTION & IMPOR	VCG	74.2
ホアファントグループ	HPG	74.0
ベトナム産業貿易商業銀行「ハトムバンク」	CTG	73.9
ビナムミルク	VNM	70.5
ベトナム外商銀行「ハトムバンク」	VCB	66.5
FPT	FPT	55.5

(注) 一定の時価総額・売買量以上の企業を適宜抽出。(データ) Bloomberg

ニュース証券株式会社【関東財務局長(金商)第138号】
 加入協会 日本証券業協会、一般社団法人日本投資顧問業協会
 主な事業 金融商品取引業

●本資料は、ニュースFPTキャピタルトラストベトナムバランスファンド(愛称 アオサイ)の運用状況に関する情報提供を目的に、FPT・ファンド・マネジメント・ジョイント・ストック・カンパニーが作成したレポートを基に、日本における販売証券会社であるニュース証券株式会社で作成したものです。●本資料は、ファンドの取引を勧誘又は推奨するものではなく、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。
 ●本資料は、信頼しうる情報に基づいて作成されていますが、その確実性・完全性を保証するものではなく、今後予告なく変更されることがあります。また、本資料の過去の実績に関する数値等は将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。●ファンドは値動きのある金融商品等に投資しますので、基準価格が変動し損失が生じるおそれがあります。従って、投資元本が保証されているものではなく、ファンドの運用による損益はすべて投資家の皆様に帰属します。●ファンドは預金保険の対象ではありません。投資をされる際には、投資リスク及びご負担頂く手数料等の諸費用について目録見書(投資信託説明書)をご確認下さい。

Ao Dai Fund Monthly Report

【お問い合わせ】

フリーダイヤル: 0120-411-965

ホームページURL: <http://www.news-sec.co.jp>



愛称
アオザイ

ケイマン籍オープンエンド契約型外国投資信託

ニュース FPT キャピタルトラスト ベトナム バランス ファンド

New-S FPT Capital Trust Vietnam Balanced Fund

お申込メモ

お申込単位	10口以上 1口単位	
お申込価格	原則15日と月末日を基準日とする受益証券の1口当り純資産価格 ※基準日の翌営業日に計算・確定され、基準日の翌々営業日に判明いたします。	
お申込日	基準日の1営業日前 12:00を締切といたします。	
払込日	1口当りの純資産価格判明日(原則基準日の翌々営業日)を国内約定日として、その3営業日後を払込日といたします。	
お申込手数料	1口純資産価格(米ドル) × お申込口数に下記のお申込手数料を加算した金額を申し受けます。	
	1,000口未満	3.240% (税抜3.000%、税0.240%)
	1,000口以上10,000口未満	2.700% (税抜2.500%、税0.200%)
	10,000口以上50,000口未満	2.160% (税抜2.000%、税0.160%)
	50,000口以上100,000口未満	1.620% (税抜1.500%、税0.120%)
	100,000口以上	1.080% (税抜1.000%、税0.080%)
設定日	2008年10月31日(金)	
信託期間	無制限 ※ファンド資産が一定の水準を下回った場合は管理会社の裁量で償還する場合がございます。	
決算日	毎年12月末 ※設定後、最初の決算は2009年12月末といたします。	
営業日	東京、ベトナム、香港及びニューヨークにおいて銀行が営業することを許可された日といたします。 ※受託会社が作成するファンドカレンダーをご覧ください。	
分配方針	管理会社の裁量によって、分配することができます。	

ニュース証券株式会社【関東財務局長(金商)第138号】
 加入協会 日本証券業協会、一般社団法人日本投資顧問業協会
 主な事業 金融商品取引業

●本資料は、ニュースFPTキャピタルトラストベトナムバランスファンド(愛称 アオザイ)の運用状況に関する情報提供を目的に、FPT・ファンド・マネジメント・ジョイント・ストック・カンパニーが作成したレポートを基に、日本における販売証券会社であるニュース証券株式会社が作成したものです。●本資料は、ファンドの取引を勧誘又は推奨するものではなく、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。
 ●本資料は、信頼しうる情報に基づいて作成されていますが、その確実性・完全性を保証するものではなく、今後予告なく変更されることがあります。また、本資料の過去の実績に関する数値等は将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。●ファンドは値動きのある金融商品等に投資しますので、基準価格が変動し損失が生じるおそれがあります。従って、投資元本が保証されているものではなく、ファンドの運用による損益はすべて投資家の皆様に帰属します。●ファンドは預金保険の対象ではございません。投資をされる際には、投資リスク及びご負担頂く手数料等の諸費用について目論見書(投資信託説明書)をご確認下さい。

Ao Dai Fund Monthly Report

【お問い合わせ】

フリーダイヤル: 0120-411-965

ホームページURL: <http://www.news-sec.co.jp>



主なリスク

本ファンドには下記にあげるリスク等が存在いたします。ご投資に際しては、目論見書等ご覧いただき、本ファンドのリスクをよくご理解していただいた上で、投資家ご自身のご判断により、ご投資いただきますようお願い申し上げます。本ファンドへのご投資には、『投資確認書』を承りますのでご理解を賜りますようお願い申し上げます。

価格変動のリスク	本ファンドの主な投資対象は、ベトナムにおける有価証券等です。その投資対象である有価証券等の価格の変動に伴い、本ファンドの純資産額は大きく変動いたします。これにより、ご投資いただいた投資元本を割込むことがございます。
信用リスク	本ファンドが投資を行う有価証券等の価格は、その有価証券を発行する企業の経営及び財務状況の変化、ならびにそれらの外部評価の変化、その他の信用状況の変化等により、投資元本を割り込むことがあります。本ファンドは格付機関等による格付けを取得していません。
カントリーリスク	本ファンドの主な投資対象であるベトナムにおける有価証券等には、ベトナム特有のリスクが存在します。詳細は別途ベトナム株式等へ投資する際のリスクをご覧ください。
流動性リスク	本ファンドでは、買戻しに際して、原則 週1回の買戻し請求日にしか、買戻しができません。
為替リスク	本ファンドは米ドル建てであり、主な投資対象はベトナムにおける有価証券等であり、その通貨はベトナム・ドンで運用されております。原則として、為替ヘッジ等為替リスクを回避する手段を講じません。よって、本ファンドは為替変動による差損により、ご投資いただいた投資元本を割りこむことがございます。

ベトナム株式等へ投資する際のリスク

政治的リスク	ベトナムは、単一政党がすべての政府決定を担う社会主義体制であり、また現在、広範囲に及ぶ経済および法改革を実施している過程にある。改革の推進力が継続するかどうか、また、改革が成功であるかどうかは不確実である。さらに、ベトナムの法制は将来大幅に変更されることが予想されるため、将来の展開を予測または予期することは困難である。これらの変更がファンドの投資の価値に悪影響を与えることがある。
経済的リスク	ベトナムは日本をはじめ他国より国家支援を受けており、経済そのものへの他国の関与が大きい。また、輸出における米国および日本の比率が高く、主な輸出国である両国の経済動向に国内経済が大きく影響される可能性がある。政治体制の変化・政策の変化・法規制の強化等により、経済への大きな影響が発生する可能性がある。
関連法令の不確実性	ベトナムにおける有価証券市場および有価証券投資の法的枠組は最近改正され、本書提出日現在、完全には実施されていない。これがファンドの投資業績に影響を与える可能性がある。
法的リスク・税の不確実性	ベトナムの法律制度が投資家およびビジネス社会にとってより高い水準の信頼性および安心を与えるものとなるのはいつのことか予測することは困難である。加え、ベトナム税法ならびに税査定、徴収および税額控除制度は発展途上にある。今後法整備・税制度の変更により、当ファンドの運用に悪影響を及ぼすことがある。
ベトナム株式取引のリスク	ファンドが投資するベトナム証券市場に上場している株式の価格は、ベトナム証券市場が2000年に創設されたばかりの証券市場であり、先進国等のより発展した証券市場に比べ規模が小さく、流動性が乏しく、法整備等も緩く、証券市場全体が非常に不安定であることなどを理由に大きく変動してしまう可能性がある。
為替リスク	ファンドは、その他の通貨に自由に交換できないベトナムドン建てで投資を行い、収益を得る予定である。したがって、為替変動により、さらに、投資者はファンドが米ドル建てであり、投資者は、購入受益証券の買戻しの請求により米ドル以外の購入通貨で買戻代金を受領するときは、米ドルによる受益証券の価値が上昇しているにもかかわらず、その時の為替相場の状況次第では損失を被り、買戻代金が投資元本を下回る結果となる可能性がある。
未上場企業への投資リスク	ファンドは、資産の15%を限度にOTC取引を含む非上場株式への投資を行うことができる。非上場株式は、流動性が低く、情報開示においても不十分な場合が多い。投資会社の財務状況の悪化や倒産等により価格が急激な低下もしくは価値が0になる可能性がある。
取引相手先リスク (カウンターパーティーリスク)	管理会社は現地証券取引を行う証券会社の選定に細心の注意を払うが、決済日が約定日と異なる取引において、取引の相手側が受渡を決済日に履行しない場合には受渡が遅れる可能性がある。また、最悪の場合(相手方の倒産など)には、受渡自体が約束どおりに行われない可能性がある。また、現地取次先証券会社による注文執行の際に、注文状況により執行が遅れる可能性がある。

ニュース証券株式会社【関東財務局長(金商)第138号】
加入協会 日本証券業協会、一般社団法人日本投資顧問業協会
主な事業 金融商品取引業

●本資料は、ニュースFPTキャピタルトラストベトナムバランスファンド(愛称 アオザイ)の運用状況に関する情報提供を目的に、FPT・ファンド・マネジメント・ジョイント・ストック・カンパニーが作成したレポートを基に、日本における販売証券会社であるニュース証券株式会社が作成したものです。●本資料は、ファンドの取引を勧誘又は推奨するものではなく、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。
●本資料は、信頼しうる情報に基づいて作成されていますが、その確実性・完全性を保証するものではなく、今後予告なく変更されることがあります。また、本資料の過去の実績に関する数値等は将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。●ファンドは値動きのある金融商品等に投資しますので、基準価格が変動し損失が生じるおそれがあります。従って、投資元本が保証されているものではなく、ファンドの運用による損益はすべて投資家の皆様に帰属します。●ファンドは預金保険の対象ではありません。投資をされる際には、投資リスク及びご負担頂く手数料等の諸費用について目論見書(投資信託説明書)をご確認ください。